



HONDA

各部の名称

各部の操作

メンテナンス

万一の場合には

資料

StepWGN StepWGN Spada

車いす仕様車

オーナーズマニュアル

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



危険

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

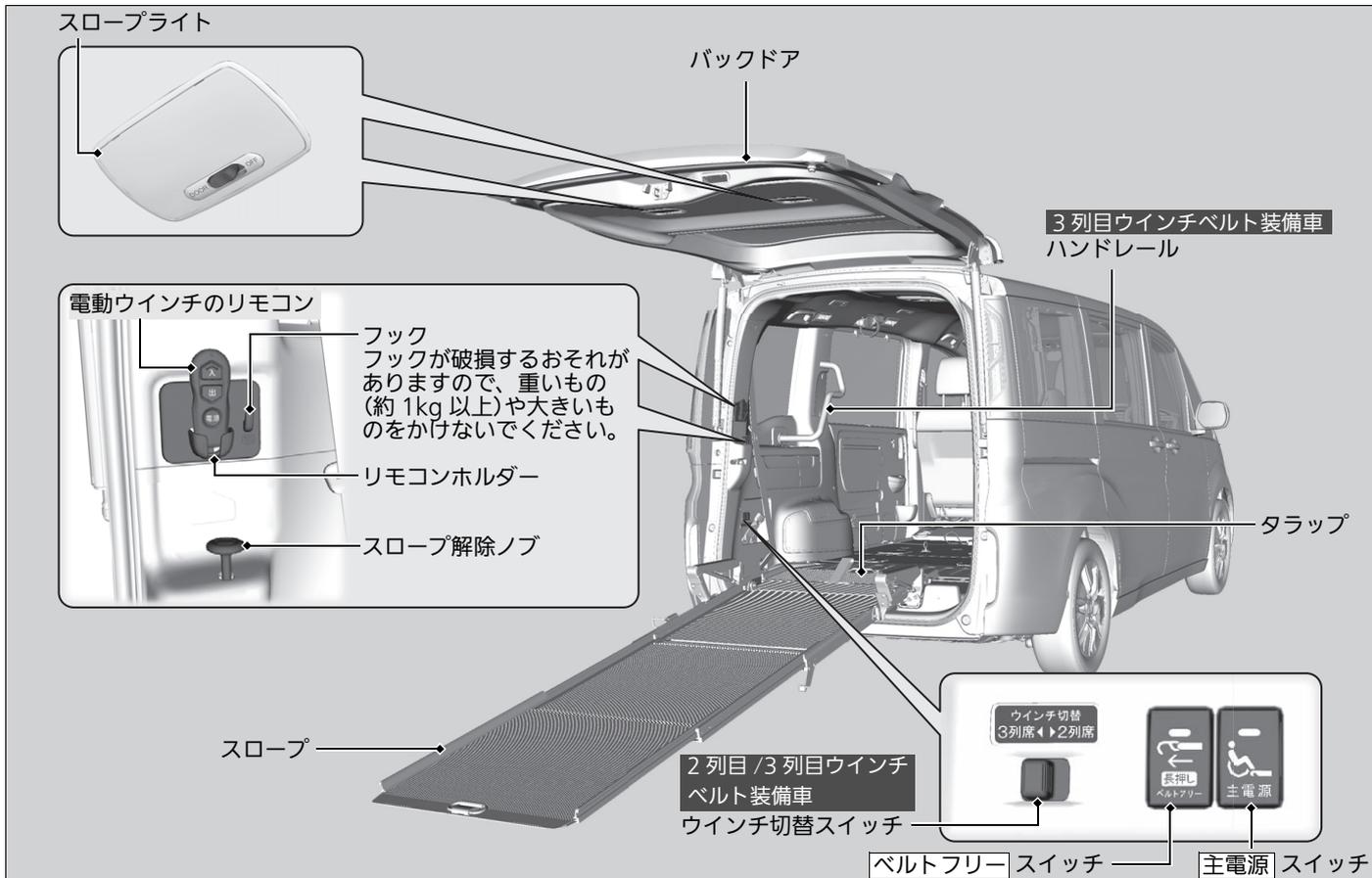
お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

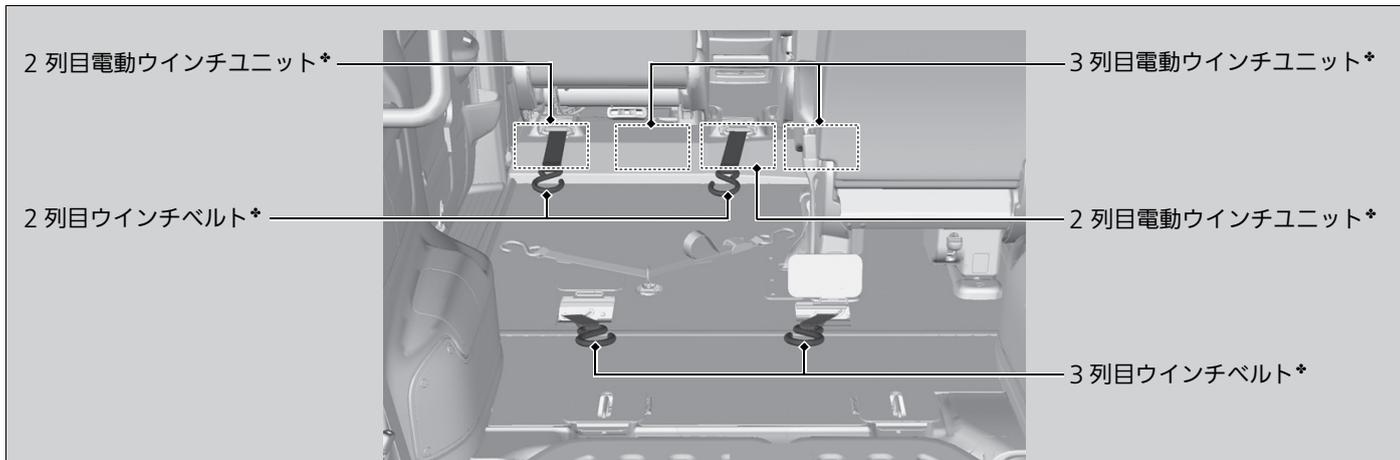
目次



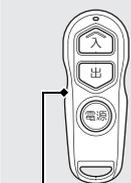
各部の名称	2	メンテナンス	34
各部の操作	4	車いす固定装置の点検	34
室内灯 / 室内装備品	4	電動ウインチリモコンの電池交換	35
スローブライト	4	万一の場合には	37
電動ウインチのリモコンの使いかた	5	ウインチベルトが作動しないとき	37
固定ベルトの取り付けかた	7	バックドアの解錠ができないとき	44
スロープの扱いかた	9	資料	46
車いすの乗せかた、降ろしかた	14	仕様	46
三点式シートベルトの着用	26	車いす乗車の目安	47
セカンドシート	33		

各部の名称

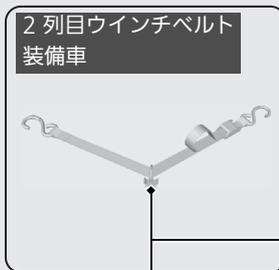




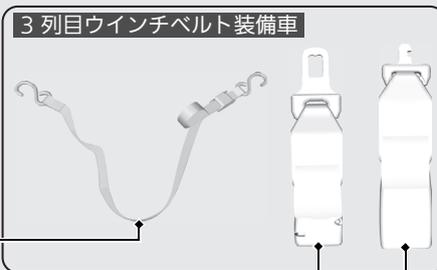
付属部品



リモコン P.5



固定ベルト P.7



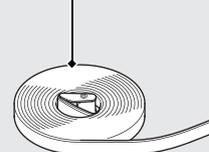
2 列目ウインチベルト
装備車

3 列目ウインチベルト 装備車

車いす用ベルト B
P.30, 32

車いす用ベルト D (運転席側
3 列目シート使用時) P.32

非常用ベルト P.40



*: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

室内灯 / 室内装備品

■スローブライト



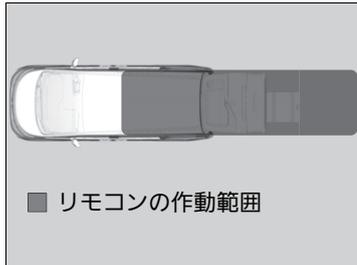
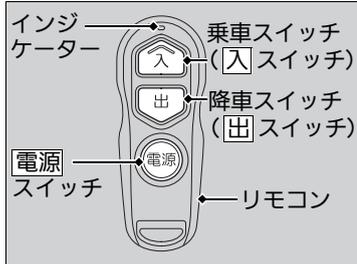
■バックドア連動

バックドアを開けると点灯し、閉めると消灯。

■OFF

バックドアの開閉に関係なく、消灯。

電動ウインチのリモコンの使いかた



■電源スイッチ

電源 スイッチを押すとリモコンの電源が入ります。

▶インジケータが赤く点灯します。

リモコンの**電源** スイッチを押してから約 6 秒以内に**入** スイッチまたは**出** スイッチを押さないと、自動的にリモコンの電源が切れます。

※電動ウインチのリモコンの使いかた

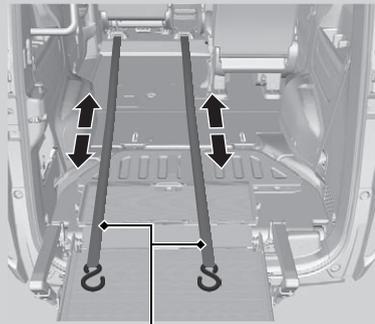
リモコンは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。

- 日本国内でのみ使用する
 - 分解しない
 - 改造しない
 - リモコンに印字されている技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない
- 分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。**

リモコンの故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

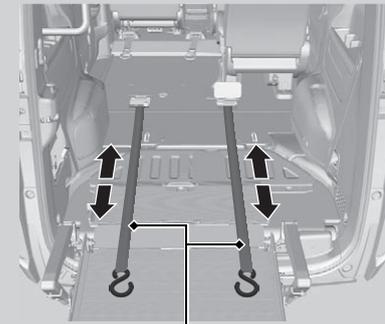
- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- リモコンを落としたり、重いものをのせない
- リモコンに液体をかけない
- 砂や埃を避ける
- 分解をしない
- 火であぶらない
- テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

2 列目ウインチベルト装備車



ウインチベルト

3 列目ウインチベルト装備車



ウインチベルト



■乗車スイッチ(入スイッチ)

入スイッチを押している間、電動ウインチが作動し、ウインチベルトが巻き取られます。

▶インジケーターが緑に点滅します。



■降車スイッチ(出スイッチ)

出スイッチを押している間、電動ウインチが作動し、ウインチベルトが引き出されます。

▶インジケーターが緑に点滅します。

※電動ウインチのリモコンの使いかた

操作中にリモコンのスイッチから指を離すと「ピッピッ」と音がします。

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

【電源】スイッチを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

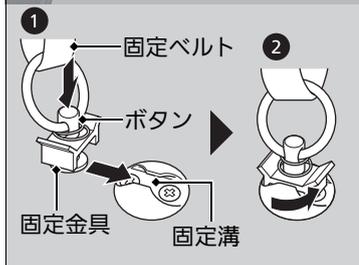
❏ 電動ウインチリモコンの電池交換 P.35

リモコンは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。また、周囲の電波状態により 出 または 入 スwitchを押しても電動ウインチが作動しない場合があります。

そのときはリモコンの【電源】スイッチを押し直した後、再度 出 または 入 スwitchを押して動かしてください。

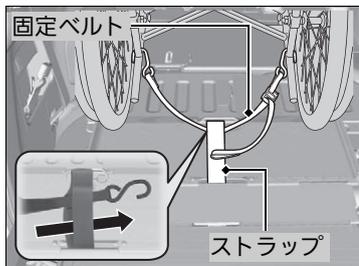
入 スwitchや 出 スwitchを押している間は電動ウインチが作動します。停止したい場合は 入 スwitchや 出 スwitchから指を離してください。

固定ベルトの取り付けかた



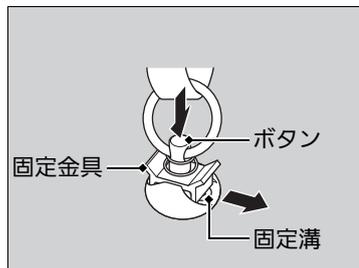
■2列目ウインチベルト*

- ① 固定金具を持ち、ボタンを押しながら固定溝にスライドさせる。
- ② 固定金具を「カチッ」と音がするまで回し、ホルダープレートに確実に固定されていることを確認する。



■3列目ウインチベルト*

ストラップの中に固定ベルトを通す。



■取り外しかた

2 列目ウインチベルト装備車

固定金具を持ち、ボタンを押しながらスライドさせて固定溝から取り外す。

- ▶ 車いすを乗せないときは、固定ベルトを外してください。

■スロープの扱いかた

■スロープを降ろす



① バックドアを開ける。

▶ STEP WGN 取扱説明書

② スロープを手で押さえながら、スロープロック解除ノブを引いてロックを解除する。

③ 操作グリップを持って手前に倒し、スロープを引き出し地面に降ろす。

▶スロープが地面に接地していることを確認するまでは手を放さないでください。

次ページに続く

※スロープの扱いかた

⚠ 注意

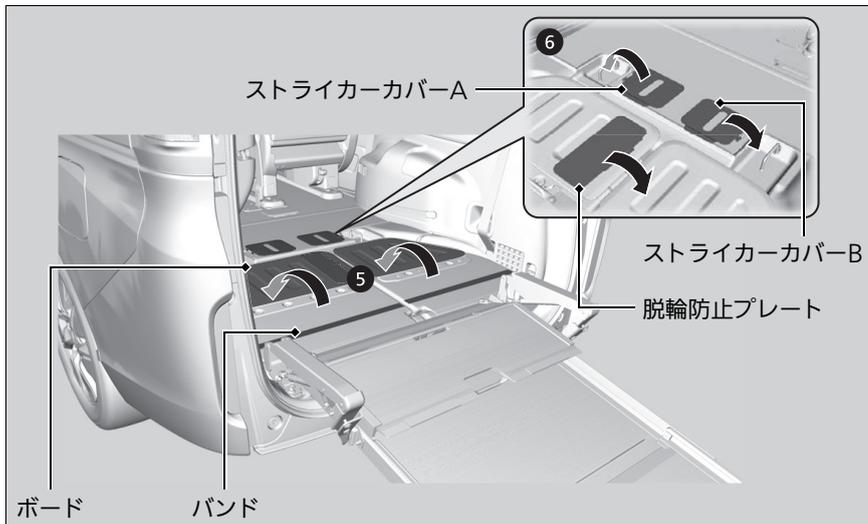
スロープやタラップを操作するときには、以下のことに注意する。

- 傾斜のない平らな所で行う
- 手などをはさまないように十分注意する
- スロープは最後まで引き出し、完全に接地した状態で使用する
- スロープを引き出した状態で車を走行しない
- 降雨時または積雪時はスロープが滑りやすくなるので注意する

アドバイス

スロープの上では1ヵ所に重さが集中しないようにする。

傷や破損の原因となります。



4 サードシートを展開しているときは、サードシートを収納する。

3列目ウインチベルト装備車

▶3列目に車いすが乗車する際に運転席側3列目シートを使用する場合は、助手席側3列目シートのみ収納してください。

STEP WGN 取扱説明書

5 収納したサードシートのバンドを外し、ボードを運転席側に展開する。

6 ストライカーカバーA、ストライカーカバーB、脱輪防止プレートを閉める。

助手席側3列目シート収納時

6 ストライカーカバーA、脱輪防止プレートを閉める。

※スロープの扱いかた

アドバイス

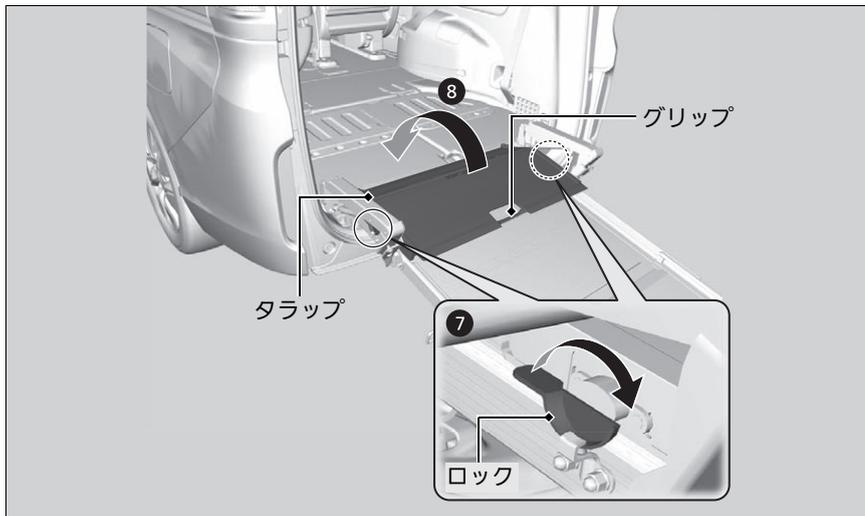
スロープとタラップの耐荷重を超えないようにしてください。

スロープとタラップの耐荷重(200kg:車いすを含む)を超えないようにしてください。スロープまたはタラップが損傷するおそれがあります。

サードシートを収納、展開するときは、以下の状態で行ってください。

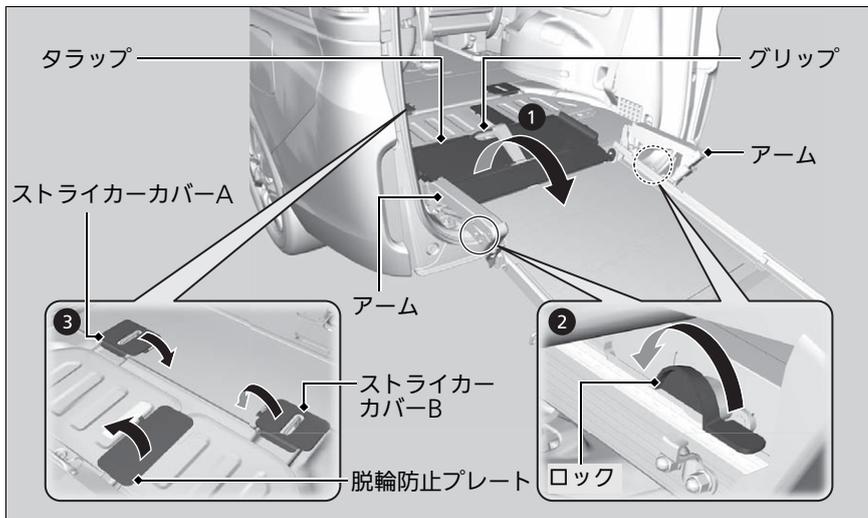
- スロープを降ろしている
- タラップが収納されている

タラップの下に、車いす固定ベルトや物が無いことを確認してください。



- ⑦ タラップ両側のロックを解除する。
- ⑧ グリップを持ってタラップを展開する。

■スロープを格納する



- ① グリップを持ってタラップを収納する。
- ② タラップ両側をロックで固定する。
- ③ サードシートを使用する場合は、ストライカーカバー-A、ストライカーカバー-B、脱輪防止プレートを開けてサードシートを展開する。

▶ STEP WGN 取扱説明書

▶▶スロープを格納する

⚠ 注意

スロープ格納時、アーム本体を直接手で操作しない。

指などを挟みけがをすることがあります。

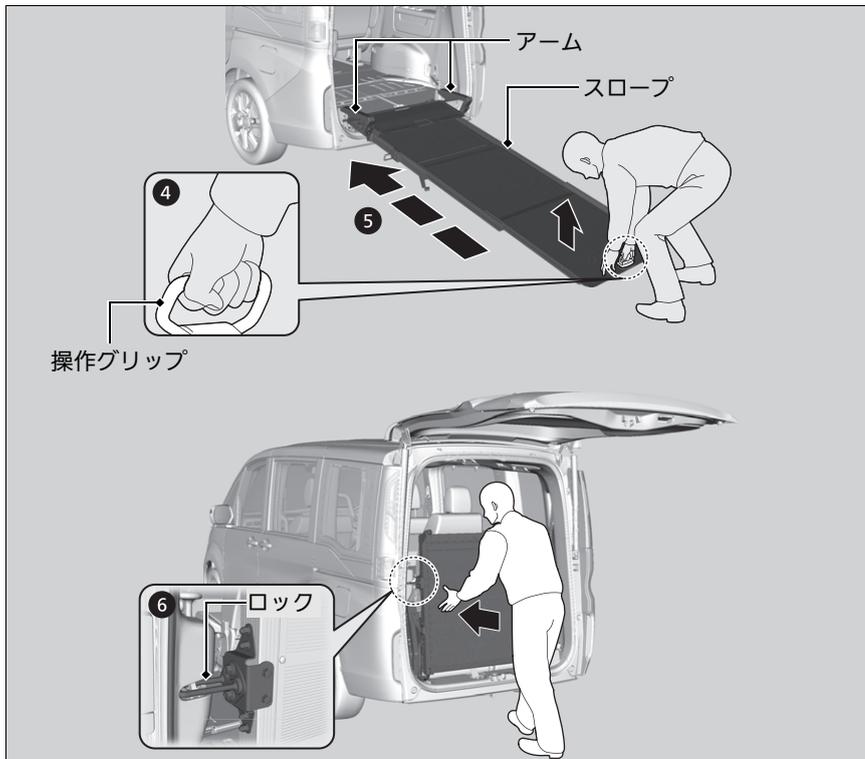
アドバイス

3列目に車いすが乗車しているときは、タラップを展開した状態でスロープを格納します。

ストライカーカバーを開けずにサードシートを展開すると正しくシートが固定できません。一度シートを収納位置に戻し、ストライカーカバーを開けてから再度シートを展開してください。

サードシートが収納できないとき：

1. 背もたれのストラップを引きながら背もたれを起こす
 2. 再び背もたれのストラップを引いて背もたれを倒す
- ▶ シート足のロックが解除されます
3. シートを収納位置に戻す

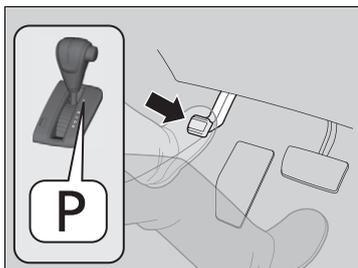


- ④ 操作グリップを持って、スロープを持ち上げる。
- ⑤ スロープを前にスライドさせながら起こす。
- ⑥ スロープを「カチッ」と音がするまで押して、ロックを確実にかける。

車いすの乗せかた、降ろしかた

車いすの乗降や固定操作は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。

車いすの乗せかた



1. パーキングブレーキをかける。
2. セレクトレバーを **P** に入れる。
3. パワーモードを OFF モードにする。
4. スロープを降ろす。

☞ スロープの扱いかた P.9

☒ 車いすの乗せかた、降ろしかた

⚠ 警告

車いすは必ず車いす固定装置で固定する。
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして重大な傷害を受けたり死亡することがあります。

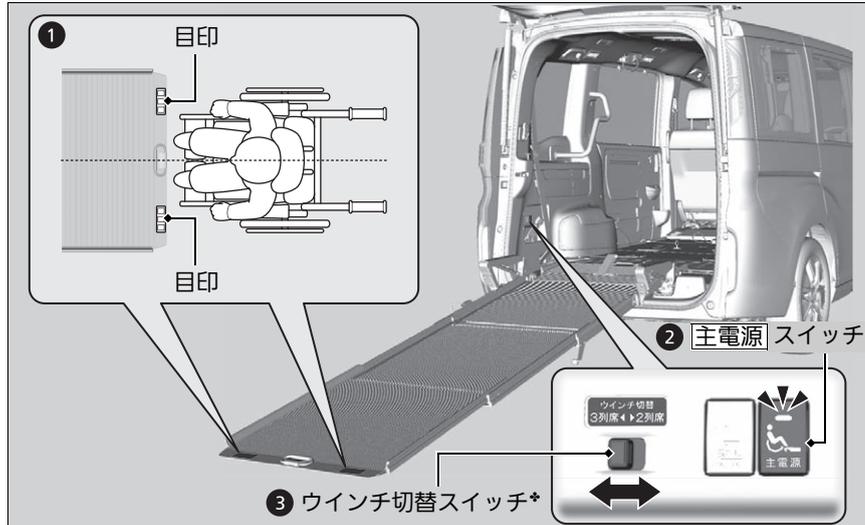
⚠ 注意

車いすの乗降や固定操作をするときは、必ずエンジンを止める。
不意に車が動き出したりして、思わぬけがをすることがあります。

車いすの乗降や固定操作は介護する人が行う。
車いすに座っている人が自力でスロープを走行したり、固定操作を行うと、スロープから落ちたり、体の一部をはさんだりしてけがをすることがあります。

車いす乗車後にフロントシートを後方にスライドさせるときは後席の足元に当たらないように注意する。

5. 車いすを乗せる。



- ① 目印を目安にして車いすがスロープの中央になるようにスロープの手前で停車し、両輪にブレーキをかける。
- ② **主電源** スwitchを押してシステムを「ON」にする。
 - ▶ 「ピッ」と音がして表示灯が点灯します。
 - ▶ **主電源** スwitchを押してから約1分間、**ベルトフリー** スwitchなどの操作が無い場合は自動的に主電源が切れます。(表示灯消灯)
- ③ 車いすが乗車する列にウインチ切替スイッチを合わせる。

❖：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

※車いすの乗せかた

⚠ 注意

ウインチベルトの操作は、電動ウインチ付近に人がいないことを確認して行う。

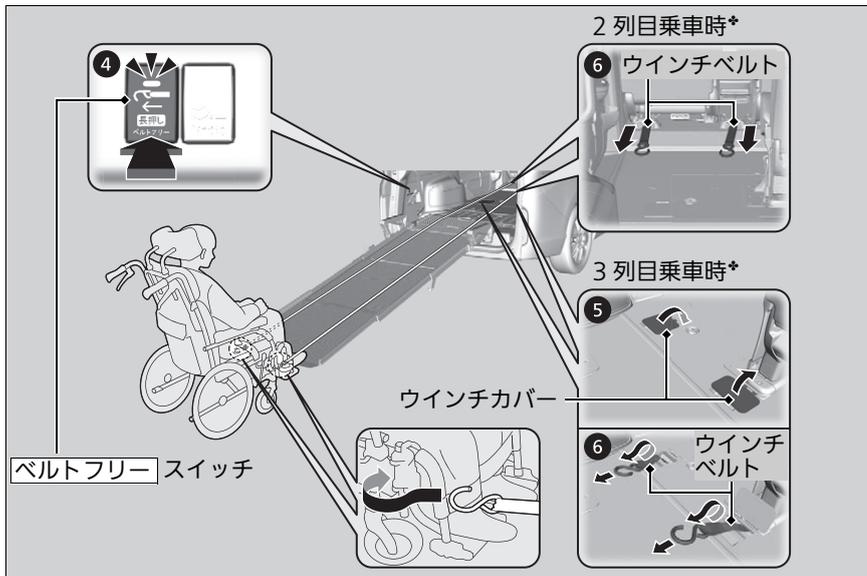
ウインチベルトを床面に放置しない。乗員がつかずいてけがをしたり、ベルトを傷めるおそれがあります。所定の場所に収納してください。

車いすを車の所定の位置に乗せるときは、座っている人の頭や手足の位置を確認しながら行き、車両にぶつかったり、車いすとの間にはさまれないように十分注意する。

介護する人が車両に頭をぶつけないように十分注意する。

電動ウインチは車いすの乗降を補助するもので、自動で乗降する装置ではありません。

電動ウインチユニットに飲み物などをこぼさないでください。ウインチが作動しなくなるおそれがあります。



共通操作

- 4** **ベルトフリー** スイッチを 1 秒間押す。
 ▶「ピーッ」と音がして表示灯が点灯します。
 ▶ベルトフリー作動中は「ピッピッ・・・ピッピッ・・・」と音が続きます。

3 列目乗車時

- 5** ウインチカバーを開ける。

共通操作

- 6** ウインチベルトのフックを手で引き出して、ベルトがねじれないように車いすの前輪側のフレームやフックにかける。

※：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

※車いすの乗せかた

注意

電動ウインチで車いす以外のものを引き上げない。

電動ウインチの故障やベルトの損傷につながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

セカンド、サードシートに乗車する場合は、セカンドシートの足元にある電動ウインチユニットを強く踏まないでください。ウインチが作動しなくなるおそれがあります。

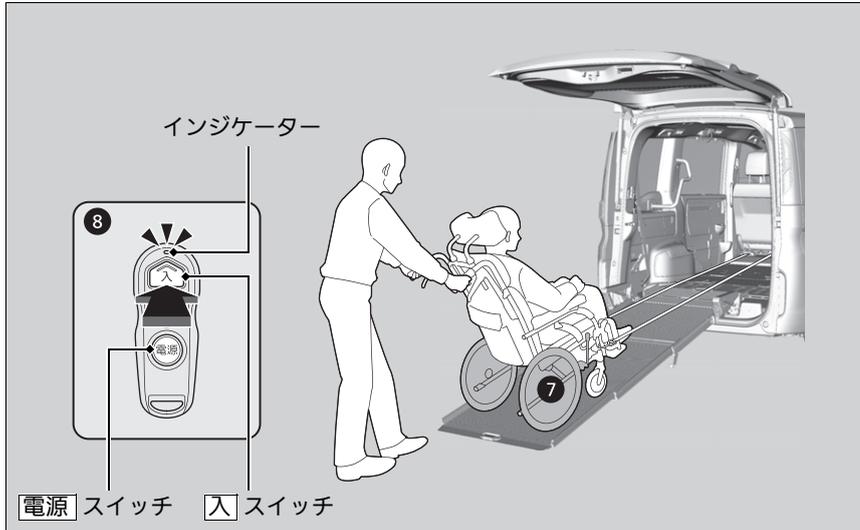
ベルトフリー作動中にウインチベルトが引き出せないとき、または表示灯が点滅したときは、**ベルトフリー** スイッチを押してもベルトを引き出すことができません。

※ **ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき** P.42

ベルトフリー スイッチの表示灯が点滅するのは以下の場合です。

- リモコンを使ってウインチベルトを収納したとき
- バッテリー、ヒューズを再接続したとき

ベルトフリー作動中にウインチ切替スイッチを操作すると、「ピーピーピー」と音がして表示灯が消灯し、ベルト操作が停止します。



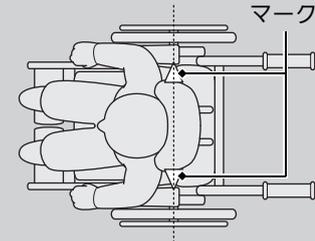
- ⑦ 車いすのブレーキを解除する。
- ⑧ リモコンの **電源** スイッチを押しインジケータ－が点灯後、**入** スイッチを押しながら介護する人が車いすをしっかりと支えて車内に乗せる。
 - ▶ 車いすの後輪が車いすの停止位置に来たら **入** スイッチを離してください。
 - ▶ 電動ウインチのリモコンの使いかた P.5

▶▶ 車いすの乗せかた

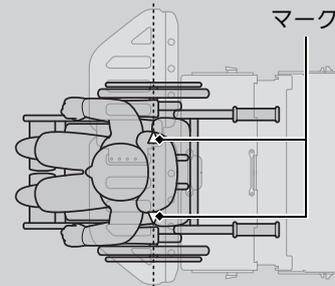
車いすの停車位置について：

床面のマークを目安として、後輪中央とマークが合うように車いすを停車してください。

2 列目乗車時

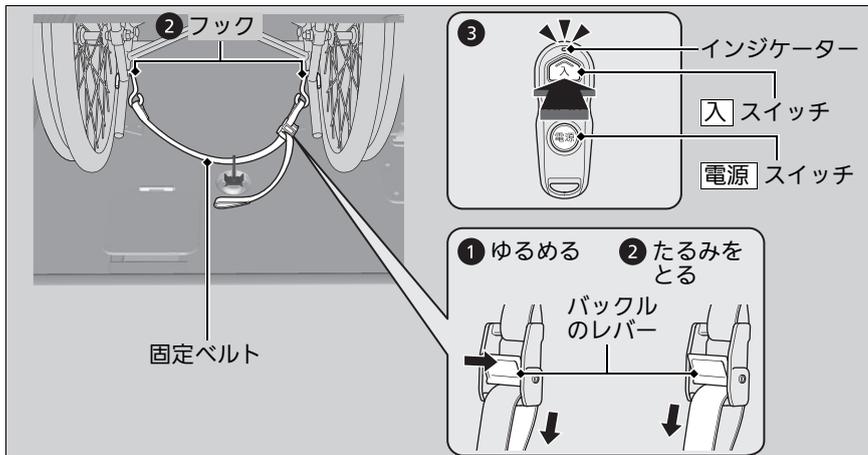


3 列目乗車時



6. 車いすを固定する。

2 列目乗車時



① 固定ベルトを床面に取り付け、バックルのレバーを押してベルトをゆるめる。

▶ 固定ベルトの取り付けかた P.7

② 固定ベルトのフックを車いす後側(後部)のフレームやフックにかける。
調整側のベルトを引っ張り、たるみをなくす。

▶ フックを軽くゆさぶり、ベルトにたるみがないことを確認してください。

▶ 乗員の足元に十分なスペースがないときは、助手席を最前端にスライドし、車いすの固定が完了した後に助手席の位置を調整してください。

③ リモコンの「電源」スイッチを押しインジケーターが点灯後、「入」スイッチを「ピーピー」と音がするまで押し続け、車いすのブレーキをかけ車輪をロックする。

▶ 車いすをゆすり、確実に固定されていることを確認してください。

▶ 電動ウインチのリモコンの使いかた P.5

※車いすの乗せかた

⚠ 警告

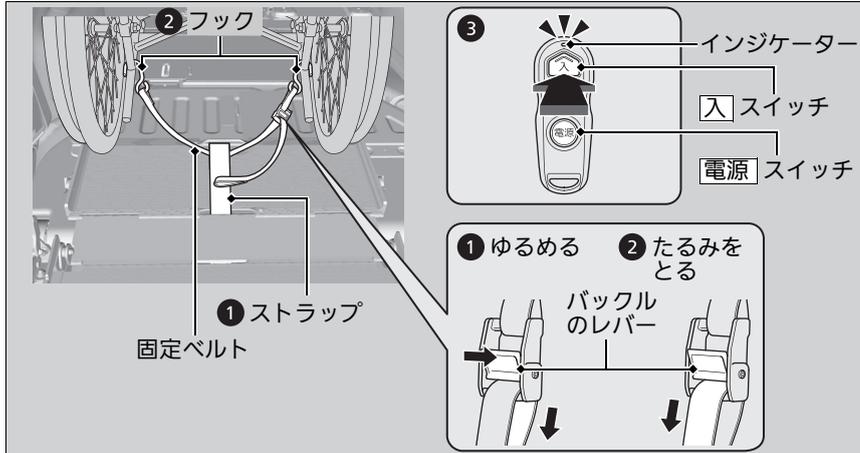
車いす本体のブレーキを必ずかける。
確実にかかっていないと、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして重大な傷害を受けたり死亡することがあります。

⚠ 注意

走行する前に、車いすが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

走行する前に、車両左後方にある「主電源」スイッチを押して電動ウインチの電源を「OFF」にする。

3 列目乗車時



① 固定ベルトをストラップに取り付け、バックルのレバーを押してベルトをゆるめる。

❏ 固定ベルトの取り付けかた P.7

② 固定ベルトのフックを車いす後側(後部)のフレームやフックにかける。調整側のベルトを引っ張り、たるみをなくす。

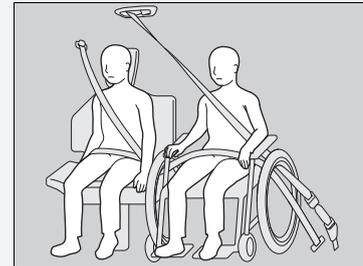
- ▶ フックを軽くゆさぶり、ベルトにたるみがないことを確認してください。
- ▶ 乗員の足元に十分なスペースがないときは、セカンドシートを最前端にスライドし、車いすの固定が完了した後にセカンドシートの位置を調整してください。

③ リモコンの「電源」スイッチを押してインジケータが点灯後、「入」スイッチを「ピーピー」と音がするまで押し続け、車いすのブレーキをかけ車輪をロックする。

▶ 車いすをゆすり、確実に固定されていることを確認してください。

❏ 電動ウインチのリモコンの使いかた P.5

❏ 車いすの乗せかた



運転席側3列目シートを使用した状態で、3列目シートの助手席側に車いすが乗車できます。

❏ 車いす乗車の目安 P.47

車いすの3列目乗車時は、運転席側3列目シートを使用する場合と、使用しない場合で、車いす乗員のシートベルト固定方法が異なります。

❏ シートベルトの着用方法 P.27



7. **主電源** スイッチを押してシステムを「OFF」にする。
8. シートベルトを着用する。
 - ☑ 三点式シートベルトの着用 P.26
9. スロープを格納する。
 - ☑ スロープの扱いかた P.9
10. バックドアを閉める。
 - ☑ STEP WGN 取扱説明書

※車いすの乗せかた

警告

バックドアを閉めるときは、車いすに座っている人の頭にぶつけないように十分注意する。

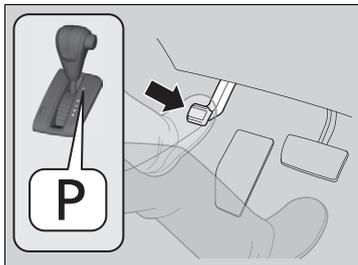
注意

車いす乗車スペース内には車いすに座った人以外の人を乗せない。

ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

車いす仕様車のセカンドシートは、ウォークイン位置での固定およびウォークイン位置よりも更に前方に動かすことはできません。走行する前には必ず、シートを元の位置に戻し、シートが固定されていることを確認してください。

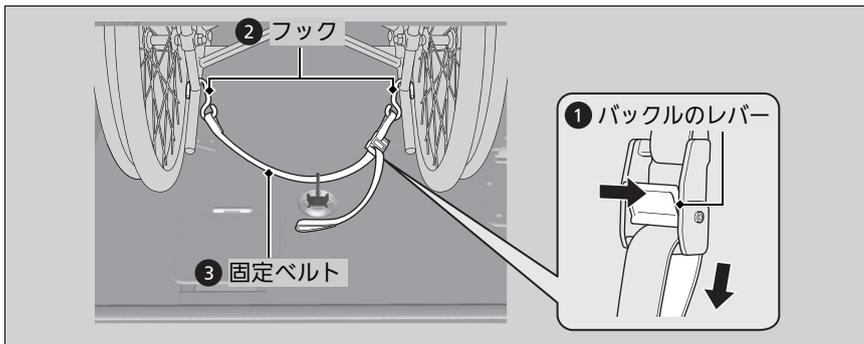
車いすの降ろしかた



1. パーキングブレーキをかける。
2. セレクトレバーを **P** に入れる。
3. パワーモードを OFF モードにする。
4. スロープを降ろす。
☑ スロープの扱いかた P.9
5. シートベルトを外す。
☑ 三点式シートベルトの着用 P.26

6. 固定ベルトを車いすから取り外す。

2 列目乗車時



- ① 固定ベルトのバックルのレバーを押し、ベルトをゆるめる。
 - ② フックを車いすから取り外す。
 - ③ 固定ベルトを床面から取り外す。
- ☑ 固定ベルトの取り外しかた P.8

☒ 車いすの降ろしかた

⚠ 注意

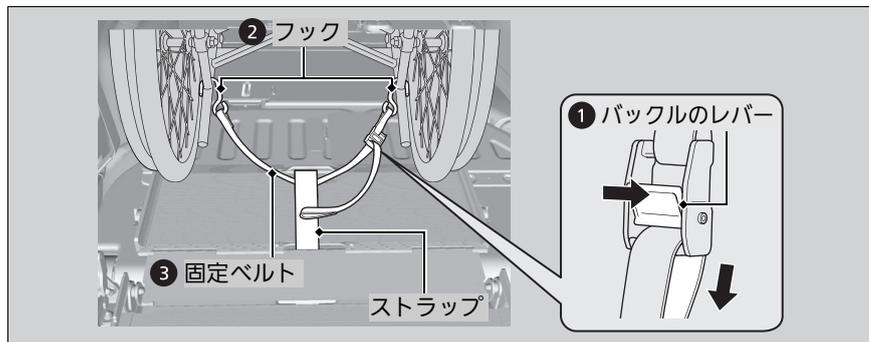
車いすを車から降ろすときは、座っている人の頭や手足の位置を確認しながら行い、車両にぶつかったり、車いすとの間にはさまれないように十分注意する。

介護する人が車両に頭をぶつけないように十分注意する。

介護する人はスロープの途中で車いすから手を離さない。

運転席側3列目シートを使用している状態で、2列目の車いす而降車できない場合は、一度、運転席側3列目シートを収納してください。

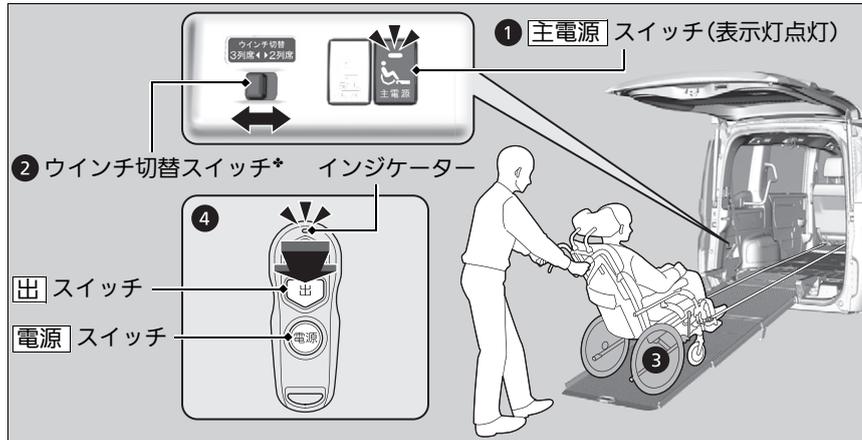
3 列目乗車時



- 1 固定ベルトのバックルのレバーを押し、ベルトをゆるめる。
- 2 フックを車いすから取り外す。
- 3 固定ベルトをストラップから取り外す。

共通操作

7. 車いすを降ろす。



① **主電源** スイッチを押してシステムを「ON」にする。

2 列目 / 3 列目ウインチベルト装備車

② 車いすが降車する列にウインチ切替スイッチを合わせる。

共通操作

③ 車いすの車輪のブレーキを解除する。

④ リモコンの**電源** スイッチを押しインジケータが点灯後、**出** スイッチを押しながら介護する人がゆっくりと車いすを引き、車外へ降ろす。

▶ **出** スイッチを押してもベルトがゆるまない場合は、車いすを押しながら **出** スイッチを押してください。

▶ **電動ウインチのリモコンの使いかた** P.5

▶ **ウインチベルトが作動しないとき** P.37

❖ : タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

次ページに続く

❖ 車いすの降ろしかた

注意

ウインチベルトの操作は、電動ウインチ付近に人がいないことを確認して行う。

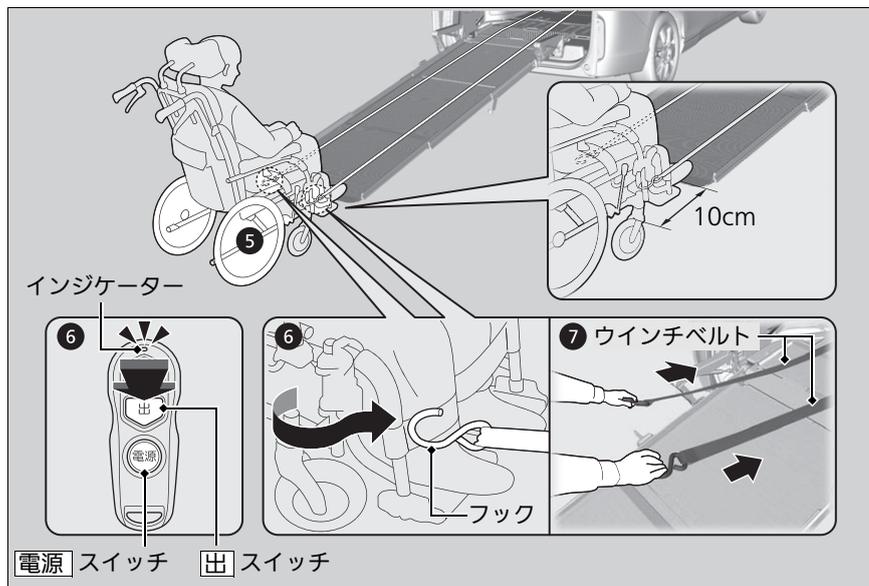
ウインチベルトを床面に放置しない。
乗員がつかずいてけがをしたり、ベルトを傷めるおそれがあります。所定の場所に収納してください。

ウインチベルトを収納するときは、リモコンを使わずに収納してください。

リモコンを使うと、電動ウインチシステムが、車いすが乗っていると認識し、落下防止の状態となります。

そのため、**ベルトフリー** スイッチを押してもベルトが引き出せなくなります。

▶ **ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき** P.42

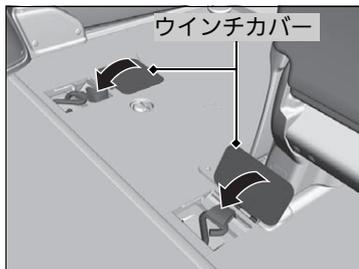


⑤ 車いすがスロープから完全に降りていることを確認し、車いすのブレーキを両輪ともかける。

▶車いすの前輪がスロープ後端から 10cm 程度の距離で停めてください。

⑥ リモコンの **電源** スイッチを押しインジケータを点灯させた後、**出** スイッチを押しながら、フックを持ち車いすから取り外す。

⑦ フックを持ち、リモコンを使わずに、ウインチベルトがねじれないようにゆっくりと巻き取らせる。



3 列目ウインチベルト装備車

8. フックを床下に収納し、ウインチカバーを閉じる。



共通操作

9. **主電源** スイッチを押してシステムを「OFF」にする。
10. スロープを格納する。
 ▶ スロープの扱いかた P.9
11. バックドアを閉める。
 ▶ STEP WGN 取扱説明書

三点式シートベルトの着用

この車は、車いすに座っている人専用の ELR 付三点式シートベルトを装備しています。

■ELR 付三点式シートベルト

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。シートベルトの詳細は、STEP WGN 取扱説明書をご覧ください。

※三点式シートベルトの着用



警告

シートベルトは、以下のことに注意し、必ず正しく着用する。

- 腰部のベルトと肩部のベルトを両方着用する
- 腰部のベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用する
- 肩部のベルトはベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用する

正しく着用していないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。

※シートベルトの着用方法

注意

肩部のベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。

シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

アドバイス

腰骨の低い位置にシートベルトが着用できる車いすの使用をおすすめします。

車いすにサイドパネルがある場合は、サイドパネルの下側または開口部からタンクプレートを通してください。

車いすの種類によってシートベルトの通しかたが異なります。

イラストを参考にして、ベルトを通してください。

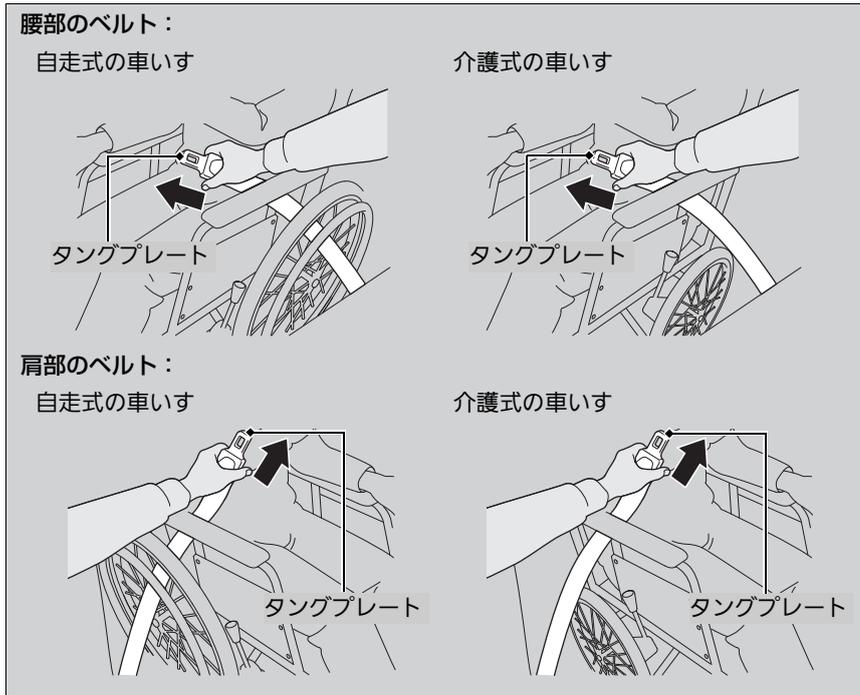
乗車に適した車いすの選びかたに関しては、Honda 販売店にご相談ください。

シートベルトの着用方法

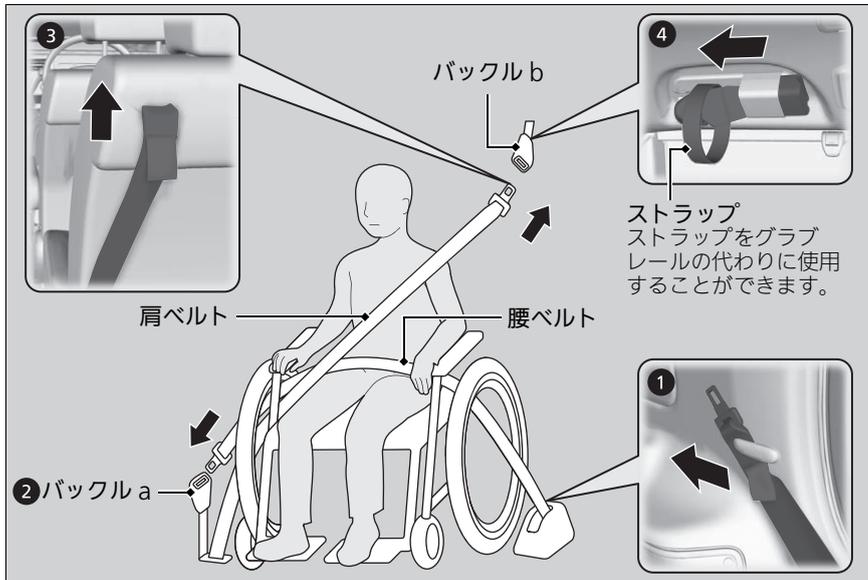
■2列目乗車時*

タンクプレートをつかみ、車いすの主車輪のスポーク、アームレストの下の開口部を通し、バックルに確実に装着する。

▶このとき、車いすの主車輪にベルトの荷重がかからないようにしてください。



*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

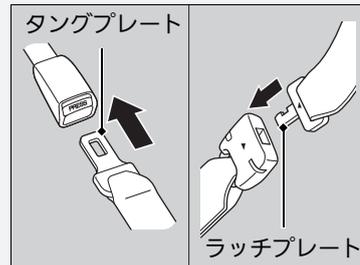


- ① 腰ベルトを引き出し、できるだけ低い位置にかかるとように引き、たるみがないように身体に密着させる。
- ② 腰ベルトをバックル a に差し込む。
- ③ セカンドシートに収納されている肩ベルトを引き出し、腰から肩へ密着するように通す。
- ④ バックル b を取り出し、肩ベルトをバックル b に差し込み確実に装着する。

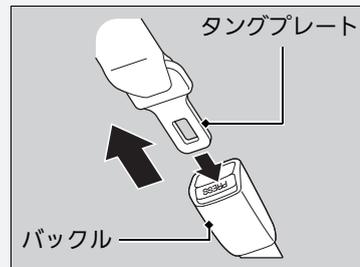
ベルト全体にねじれ、たるみ、引っかかりがないかを確認する。

※シートベルトの着用方法

タングプレート、ラッチプレートは、「カチリ」と音がするまでバックルに取り付けてください。



シートベルトを外すには、バックルの赤色の **PRESS** を押してください。

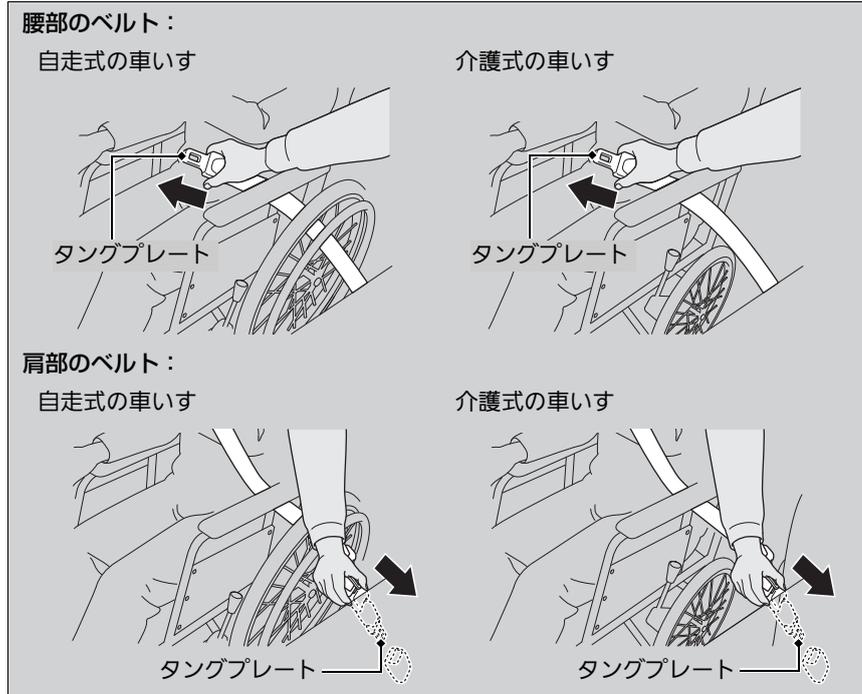


ベルトは自動的に巻き取られますので、タングプレートに手を添えてゆっくり巻き取らせてください。

■3列目乗車時(サードシート左右収納時)*

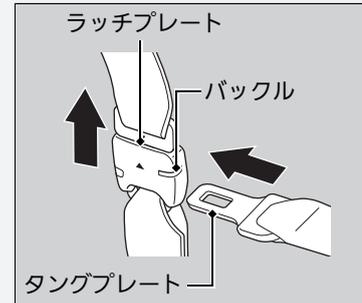
タングプレートをつかみ、車いすの主車輪のスポーク、アームレストの下の開口部を通し、バックルに確実に装着する。

▶このとき、車いすの主車輪にベルトの荷重がかからないようにしてください。



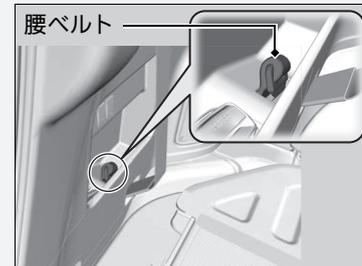
☒シートベルトの着用方法

タングプレートを ▲ マークがついているバックルの溝に差し込み、ラッチプレートを外してください。

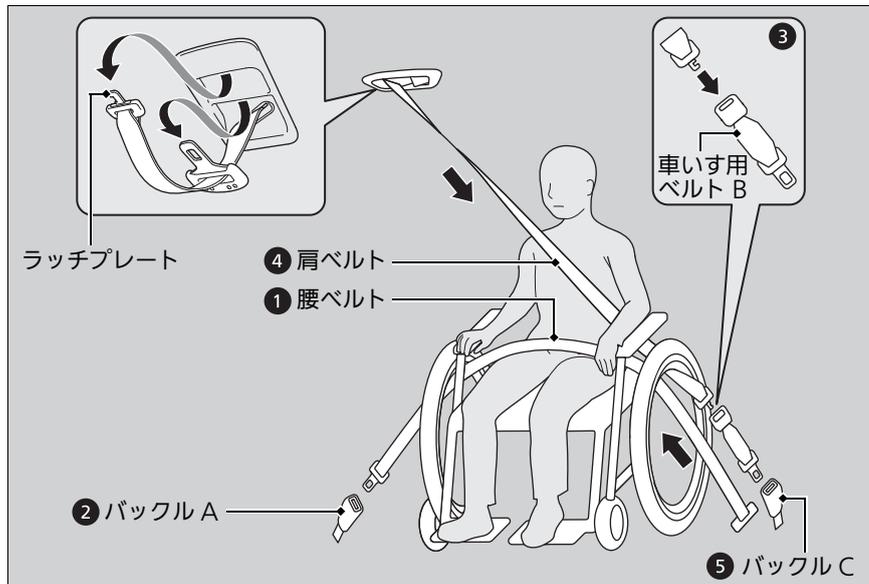


取り外した車いす用ベルトはウインチ切替スイッチの下のポケットに収納してください。

3列目乗車時に使用する腰ベルトを使用しないときは、図のように収納してください。



* : タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

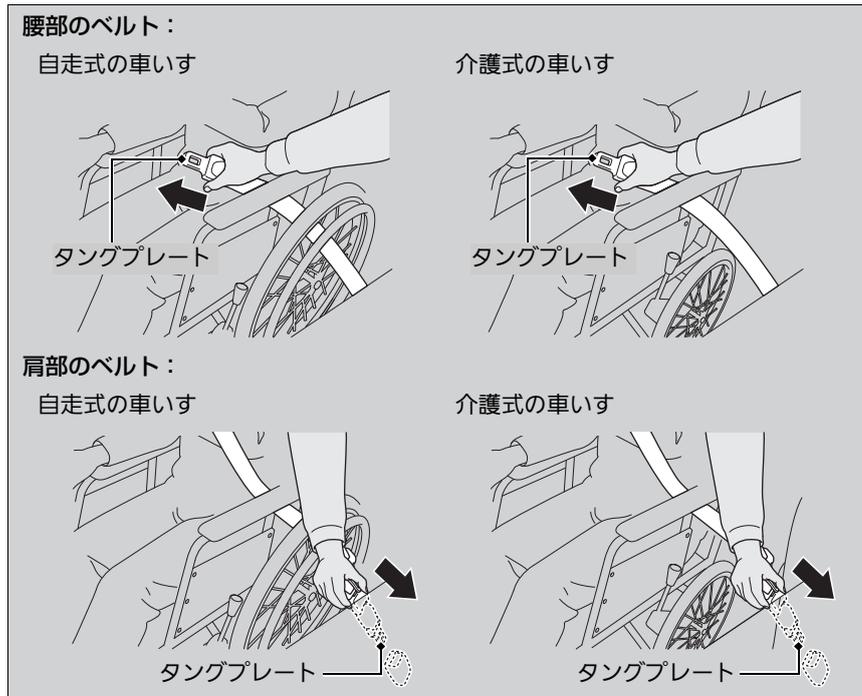


- ① **ベルトフリー** スイッチの下方から腰ベルトを引き出し、できるだけ低い位置にかかるとように引き、たるみがないように身体に密着させる。
- ② 腰ベルトをバックル A に差し込み確実に装着する。
- ③ 天井の固定部から肩ベルトのラッチプレートを外し、ねじれがないように車いす用ベルト B に差し込む。
- ④ 肩ベルトを肩から腰へ密着するように通す。
- ⑤ 車いす用ベルト B を **ベルトフリー** スイッチの下方にあるバックル C に差し込み確実に装着する。

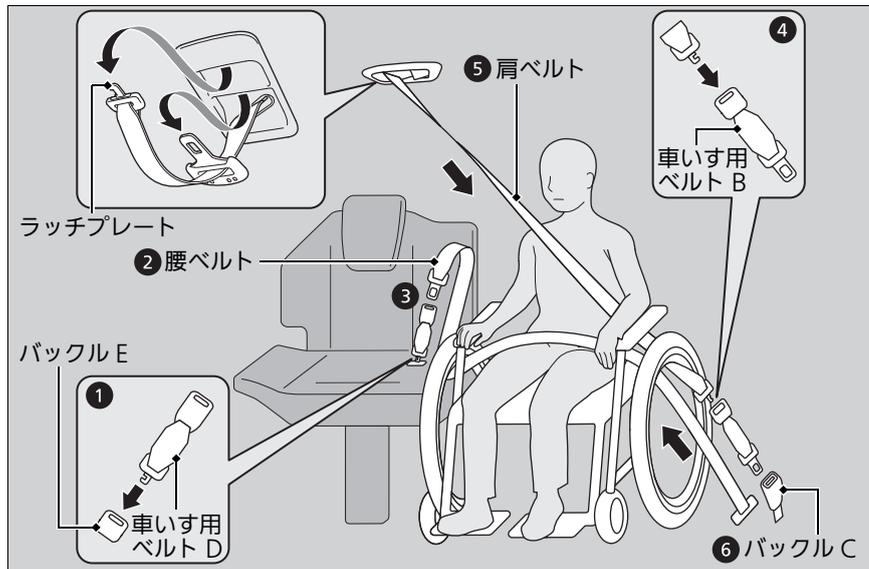
■3列目乗車時(運転席側3列目シートの使用時)*

タンクプレートをつかみ、車いすの主車輪のスポーク、アームレストの下の開口部を通し、バックルに確実に装着する。

▶このとき、車いすの主車輪にベルトの荷重がかからないようにしてください。



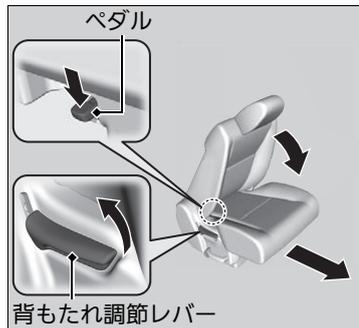
*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。



- ① 車いす用ベルト D をバックル E に差し込み確実に装着する。
- ② **ベルトフリー** スイッチの下方から腰ベルトを引き出し、できるだけ低い位置にかかるとともに戻し方向へ引き、たるみがないように身体に密着させる。
- ③ 腰ベルトを車いす用ベルト D に差し込み確実に装着する。
- ④ 天井の固定部から肩ベルトのラッチプレートを外し、ねじれがないように車いす用ベルト B に差し込む。
- ⑤ 肩ベルトを肩から腰へ密着するように通す。
- ⑥ 車いす用ベルト B を **ベルトフリー** スイッチの下方にあるバックル C に差し込み確実に装着する。

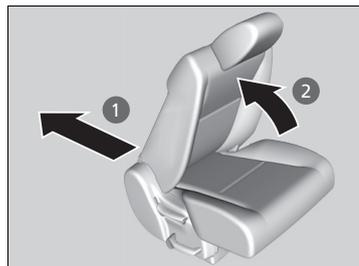
セカンドシート

■ サードシートへの乗り降り



■ウォークイン機構

1. 背もたれ調節レバーを引き上げると、背もたれが前に倒れる。
▶シート下部のペダルを踏んでも、操作できます。
2. そのままシートを前方に押す。
走行する前にシートを元に返し、前後位置を調節してください。



■シートを元に戻すとき

1. シートを後方へ押して、前後位置を調節する。
2. 背もたれを起こしてシートを固定する。

☒ サードシートへの乗り降り

シートを操作したら、シートを前後にゆすって固定されていることを確認してください。

車いす固定装置の点検

車いす固定装置の点検は、日常点検と定期点検があります。日常点検は使用状況に応じ、お客様の判断で適時行ってください。定期点検は、12 か月および24 か月ごとに Honda 販売店に依頼してください。

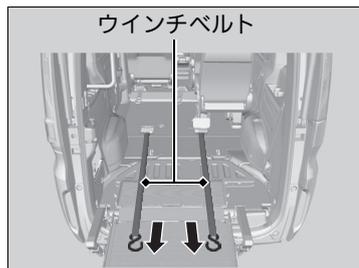
点検項目

■作動のスムーズさ、異音の点検

リモコンの電源スイッチを押した後、**入** スイッチや **出** スイッチを押して装置がスムーズに作動するか、異音がないかを点検します。

▶ 電動ウインチのリモコンの使いかた P.5

■ベルトの点検



ウインチベルトはベルトを引き出して点検してください。

以下の各ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどがあるときは交換してください。

- ウインチベルト
- 固定ベルト
- 車いす用ベルト
- 非常用ベルト
- ストラップ

- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたして拭き取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

▶ 車いす固定装置の点検

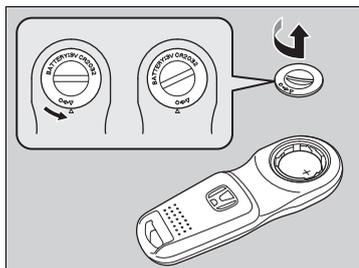
車いす固定装置の点検整備方式は、下表の通りです。

点検整備項目	点検時期		
	日常点検	12 か月ごと	24 か月ごと
作動のスムーズさ、異音	○	○	○
ウインチベルト、固定ベルト	○	○	○

部品の交換は、Honda 販売店に依頼してください。

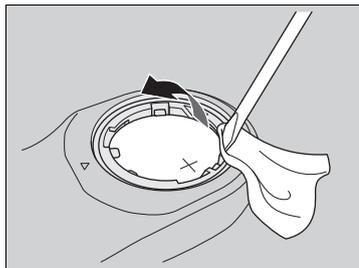
電動ウインチリモコンの電池交換

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。電源スイッチを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。



ボタン電池： CR2032

1. コインなどを使い、電池カバーを矢印の方向に回して外す。
2. 電池固定部の隙間にマイナスドライバーの先端を差し込み、電池を取り外す。
▶ショートさせないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。
▶交換後、元のように電池カバーを取り付けます。



ⓧ電動ウインチリモコンの電池交換



警告

**ボタン電池は、お子さまが飲み込まないように注意する。
重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
飲み込んだ時は、ただちに医師の診察を受けてください。**

電動ウインチリモコンをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。

確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

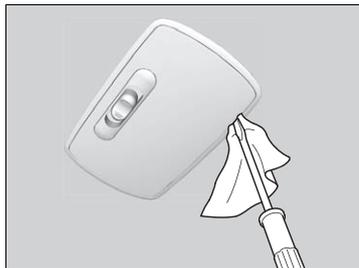
電池は Honda 販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

電球の交換

■スローブライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

スローブライト： 12V-8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。

▶ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. 古い電球を抜き取る。

3. 新しい電球を差し込む。

ウインチベルトが作動しないとき

ウインチベルトが作動しないときは、車のバッテリーを点検してください。
バッテリーがあがっていないときは、パワーモードをOFFモードにして、ヒューズが切れていないか確認します。

❏ STEP WGN 取扱説明書

❏ ウインチベルトが作動しないとき

車のバッテリーを再接続したときやヒューズを交換したときに **ベルトフリー** スイッチが使えないことがあります。

❏ ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき P.42

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。
交換した後、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ヒューズは同じ規定容量の予備ヒューズと交換してください。

リモコンの電波状態、車両のバッテリーの状態やウインチに異常があると作動が停止することがあります。

ウインチベルトが作動しないときは以下のことが考えられます。

ブザー	表示灯		状態	確認内容
	主電源	ベルトフリー		
ピーピーピー (3回吹鳴)	交互に点滅		ウインチの部品が故障しているとき	販売店で点検を受けてください。
ピーピーピー (3回吹鳴)	点滅	消灯	車両のバッテリー電圧が低下しているとき	バッテリーを点検してください。 バッテリーに問題が無い場合は、販売店で点検を受けてください。
ピーピーピー (3回吹鳴)	点灯	消灯	ウインチ動作中にエンジンをかけたとき	リモコンの電源を再度 ON してください。 その後、 入 または 出 スイッチを押してください。
			リモコンの通信状況が悪かったとき	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの電源を再度 ON してください。 その後、入または出スイッチを押してください。 何度も同様な事象が発生する場合は、リモコンの電池が消耗している可能性があります。 電池を交換しても改善しない場合は、販売店で点検を受けてください。
			ウインチベルトにかかる負荷が大きいとき	<ul style="list-style-type: none"> 傾斜地であれば、平坦な路面で使用してください。 ウインチベルト、車いす付近に引掛りが無いか確認し、異物がある場合は取り除いてください。 被介護者と車いす合わせて 120kg を超えている場合はウインチ性能を満足できません。 上記以外で何度も同様な事象が発生する場合は、販売店で点検を受けてください。
	点灯	消灯・点滅・点灯いずれかのとき	ウインチ切替スイッチが故障しているとき	ウインチ切替スイッチを切替えてもウインチが作動しない場合、ウインチ切替スイッチが故障している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> 全ての車いす固定状況を確認してください。 販売店で点検を受けてください。

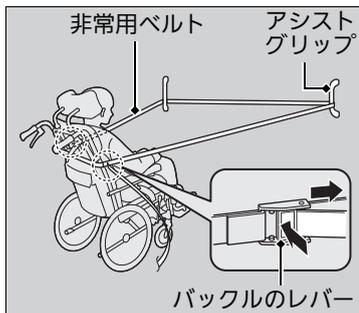
■ リモコンの操作途中でウインチが止まったとき

「ピーピーピー」と3回音がしてウインチが停止したときは、以下の手順に従って操作してください。

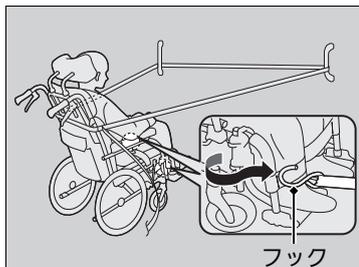
1. リモコンの電源スイッチを押し直す。
 - ▶ リモコンのインジケーターが赤く点灯していても押しください。
2. 再度 **出** または **入** スイッチを押す。
 - ▶ ウインチが作動しない場合は、装置の故障が考えられます。
非常用ベルトを使って車いすを車外に降ろしてください。
 - 乗降の途中で停止したとき P.40

乗降の途中で停止したとき

リモコンを紛失した場合や電池が切れた場合、乗降の途中で停止した場合は、非常用ベルトを使って車いすを車外へ降ろしてください。Honda 販売店にご連絡ください。



1. 車いすのブレーキをかける。
2. **主電源** スイッチを押してOFFにする。
3. 非常用ベルトを左右のアシストグリップ両方に通し、車いすの背もたれ付近にかける。
4. 非常用ベルトのバックルのレバーを押してベルトを調整し車いすを固定する。
5. 車いすのブレーキを解除する。
6. バックルのレバーを押し、ベルトを少しゆるめる。
7. 車いすを少し前に動かしてウインチベルトのフックを車いすから取り外し、車いすを支える。
▶ ウインチベルトを取り外した後は、速やかに車いすを支えてください。



乗降の途中で停止したとき

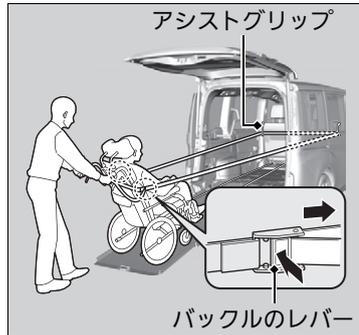
注意

装置が故障したときは、車いすでの乗車はしない。

車いすの固定が確実にできないので、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

注意

車いすのかたを降車させることができなくなった場合は、備え付けの非常用ベルトで車いすを固定後、ウインチのフックを外し、十分に注意しながら降車させる。



8. 車いすを支えながら、非常用ベルトのバックルのレバーを押し、ベルトをゆるめながら車いすを降ろす。
▶ベルトの開け閉めを繰り返し行い、ゆっくりと降車させてください。
9. 車いすがスロープから完全に降りていることを確認し、車いすのブレーキを両輪ともかける。
10. 非常用ベルトを取り外す。

■ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき

■ベルトフリースイッチの表示灯が点灯し、「ピッピッ・・・ピッピッ・・・」と音が続けているとき

以下の手順にしたがって操作してください。

1. リモコンの電源スイッチを押しインジケーターが点灯後、**出** スイッチを押しながらウィンチベルトを少し引き出す。
2. **ベルトフリー** スイッチを押してベルトを引き出す。

■ベルトフリースイッチの表示灯が点滅し、「ピッピッ・・・ピッピッ・・・」と音が続かないとき

以下の手順にしたがって操作してください。

1. ウィンチベルトを一度収納する。
2. リモコンの電源スイッチを押しインジケーターが点灯後、**出** スイッチを押しながらベルトをすべて引き出す。
3. リモコンを使わずに、ゆっくりとベルトを巻き取らせる。
▶ **ベルトフリー** スイッチを押してベルトが引き出せるようになります。

上記の操作を行ってもベルトを引き出すことができない場合、または、他のベルトが引き出される場合、装置の故障が考えられますので、Honda 販売店にご連絡ください。

■ベルトフリースイッチを押してもベルトが引き出せないとき



注意

装置が故障したときは、車いすでの乗車はしない。

車いすの固定が確実にできないので、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

ウィンチベルトを収納するときは、リモコンを使わずに収納してください。

リモコンを使うと、電動ウィンチシステムが、車いすが乗っていると認識し、**ベルトフリー** スイッチを押してもベルトが引き出せなくなります。

ベルトフリー スイッチの表示灯が点滅するのは以下の場合です。

- リモコンを使ってウィンチベルトを収納したとき
- 車のバッテリーを再接続したとき
- ヒューズを交換したとき
- リモコンを使用せずに車いすを降ろしたとき

車内に固定された状態で停止したとき

すみやかに Honda 販売店で点検を受けてください。
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

■車いす乗車の方のみ車外に降ろすときには

万が一、車いすが固定された状態で停止し、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方のみ降ろしてください。

1. スライドドアを全開にする。
 - ▶車いす乗車の方を車外へ降ろすときは、車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にします。
2. 車いす乗車の方を降ろす。

☒ STEP WGN 取扱説明書

☒車内に固定された状態で停止したとき



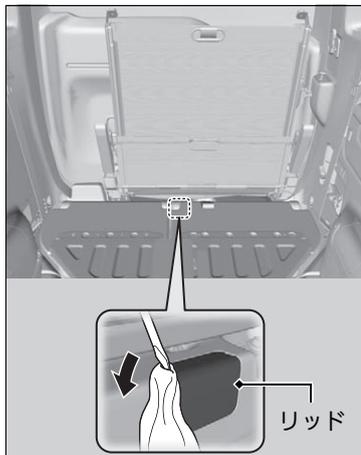
注意

装置が故障したときは、車いすでの乗車はしない。

車いすの固定が確実にできないので、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

バックドアの解錠ができないとき

万一、バックドアが解錠できなくなった場合は、応急処置として次の方法で解錠してください。



1. バックドア下方のリッドに、マイナスドライバーの先端を差し込み、リッドを取り外す。

▶リッドが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

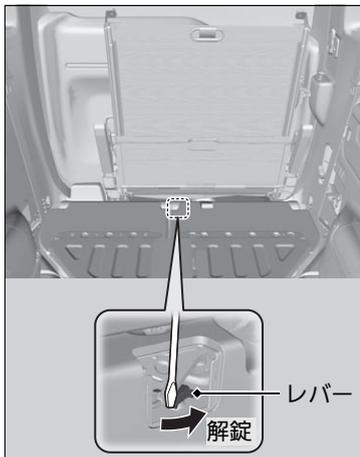
※バックドアの解錠ができないとき

⚠ 注意

バックドアを内側から開けるときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認する。

人やものにぶつかり思わぬけがをするおそれがあります。

応急処置後は Honda 販売店で点検を受けてください。



2. マイナスドライバーでレバーを右に動かし、バックドアを解錠する。
3. バックドアを開ける。

☑ STEP WGN 取扱説明書

仕様

項目		サービスデータ		
電球	スローブライト	12V-8W		
	ウインチスイッチライト	LED		
スローブ・タラップ	耐荷重	200kg		
ウインチ	最大引上げ重量	120kg		
乗車定員	2列目 車いす仕様車	車いすご利用の方が乗車される場合	7人(車いすご利用の方も含む)	
		車いすご利用の方が乗車されない場合	6人	
	3列目 車いす仕様車	車いすご利用の方が 運転席側3列目シート使用時	6人(車いすご利用の方も含む)	
		乗車される場合 運転席側3列目シート非使用時	5人(車いすご利用の方も含む)	
	車いすご利用の方が乗車されない場合		7人	
	2列目にのみ車いすご利用の方が乗車される場合		7人(車いすご利用の方も含む)	
	2列目3列目に車いすご利用の方が乗車される場合 (運転席側3列目シート使用時)		6人(車いすご利用の方も含む)	
	2列目3列目 車いす仕様車	車いすご利用の方が乗車される場合	2列目3列目に車いすご利用の方が乗車される場合	5人(車いすご利用の方も含む)
			(運転席側3列目シート非使用時)	
		3列目にのみ車いすご利用の方が乗車される場合 (運転席側3列目シート使用時)		5人(車いすご利用の方も含む)
3列目にのみ車いすご利用の方が乗車される場合 (運転席側3列目シート非使用時)		4人(車いすご利用の方も含む)		
車いすご利用の方が乗車されない場合		6人		

車いす乗車の目安

乗車可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。

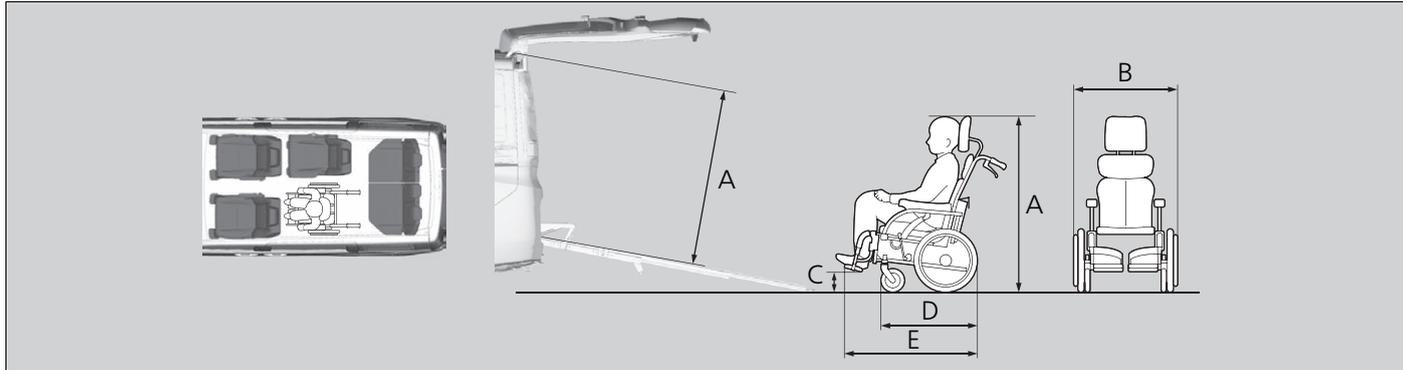
なお、下記寸法を満たしている場合でも形状によっては乗車のできない車いすがあります。

※車いす乗車の目安

車いすはヘッドレスト付をおすすめします。

思わぬ事故に備え、ヘッドレスト付の車いすをおすすめします。

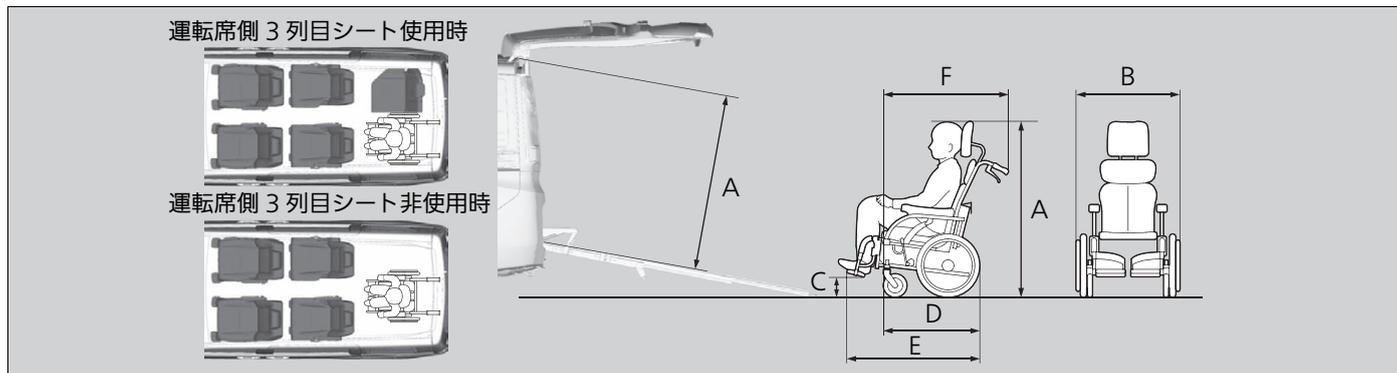
2 列目車いす仕様車



車いすのタイプ		自走式、介護式
A: 全高		1247mm 以下
B: 全幅		670mm 以下
C: フットプレート高さ		100mm 以上 (65mm 以上※)
D: 前輪の前端～後輪の後端		945mm 以下
E: 全長	1 列目シートスライド前端時	1494mm 以下
	1 列目シートスライド後端時	1251mm 以下

※：車いす全長(寸法 E)が 1060mm 以下の場合

3 列目車いす仕様車



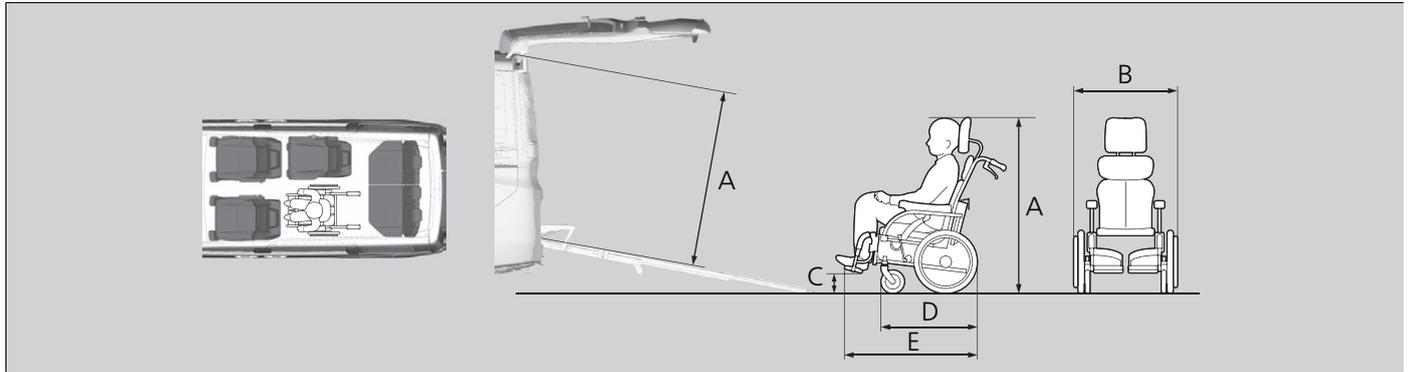
車いすのタイプ	自走式、介護式
A: 全高	1247mm 以下
B: 全幅	550mm 以下※1、700mm 以下※2
C: フットプレート高さ	65mm 以上
D: 前輪の前端～後輪の後端	806mm 以下
E: 全長 2 列目シートスライド前端時 2 列目シートスライド後端時	1321mm 以下 1128mm 以下
F: 前輪の前端～ハンドル後端	790mm 以下(ハンドル高 807mm 以下)、 900mm 以下(ハンドル高 808mm 以上)

※1 : 運転席側 3 列目シート使用時

※2 : 運転席側 3 列目シート非使用時

2列目3列目車いす仕様車

2列目のみで車いすを使用する場合：

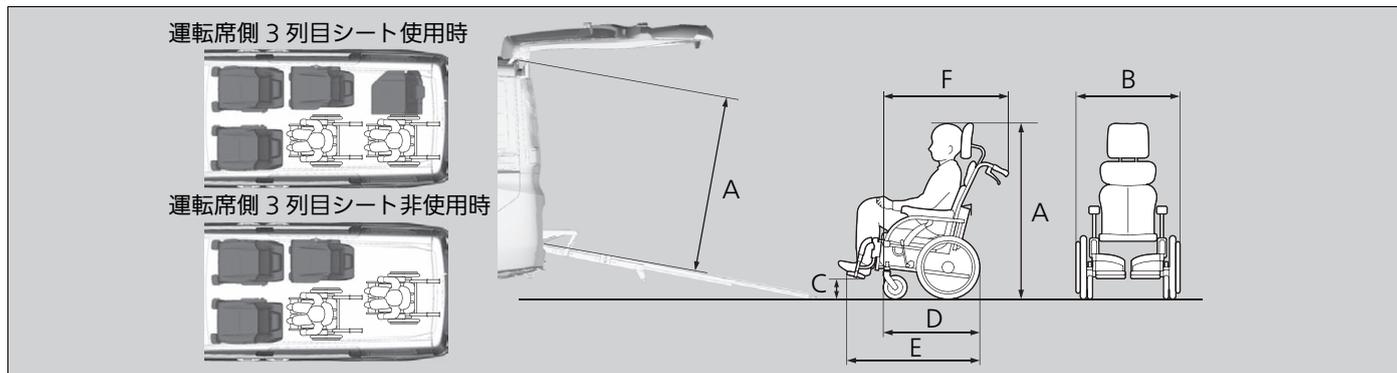


車いすのタイプ	自走式、介護式
A: 全高	1247mm 以下
B: 全幅	670mm 以下
C: フットプレート高さ	100mm 以上 (65mm 以上※)
D: 前輪の前端～後輪の後端	945mm 以下
E: 全長	1494mm 以下
1列目シートスライド前端時	1251mm 以下
1列目シートスライド後端時	

※：車いす全長(寸法E)が1060mm 以下の場合

2 列目 3 列目車いす仕様車

同時に 2 列目 3 列目で車いすを使用する場合：



資料

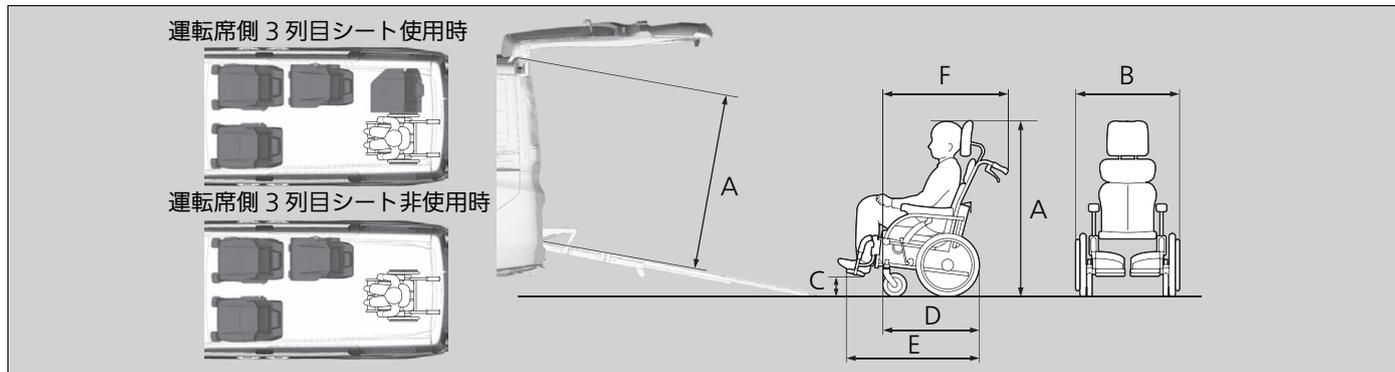
車いすのタイプ	自走式、介護式	
	2 列目用車いす	3 列目用車いす
A: 全高	1247mm 以下	
B: 全幅	670mm 以下	550mm 以下 ^{※1} 、700mm 以下 ^{※2}
C: フットプレート高さ	100mm 以上	65mm 以上
D: 前輪の前端～後輪の後端	785mm 以下	806mm 以下
E: 全長	2 列目用車いす 1 列目シートスライド前端時	1215mm 以下
	3 列目用車いす 1 列目シートスライド後端時	972mm 以下
	—	1060mm 以下
F: 前輪の前端～ハンドル後端	—	790mm 以下(ハンドル高 807mm 以下)、 900mm 以下(ハンドル高 808mm 以上)

※1：運転席側 3 列目シート使用時

※2：運転席側 3 列目シート非使用時

2 列目 3 列目車いす仕様車

3 列目のみで車いすを使用する場合：



車いすのタイプ	自走式、介護式
A: 全高	1247mm 以下
B: 全幅	550mm 以下 ^{※1} 、700mm 以下 ^{※2}
C: フットプレート高さ	65mm 以上
D: 前輪の前端～後輪の後端	806mm 以下
E: 全長	1060mm 以下 ^{※3} 、2028mm 以下 ^{※4}
F: 前輪の前端～ハンドル後端	790mm 以下(ハンドル高 807mm 以下)、 900mm 以下(ハンドル高 808mm 以上)

※1：運転席側 3 列目シート使用時

※2：運転席側 3 列目シート非使用時

※3：車いす全幅(寸法 B)が 601mm 以上の場合

※4：車いす全幅(寸法 B)が 600mm 以下の場合

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QRコード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右のQRコードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センター
でもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010^{イフレアイオ}

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速に対応させていただくために、
あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談
ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離
- ③ ご購入年月日
- ④ 販売店名